



# 高小だより

津市立高茶屋小学校  
平成30(2018)年10月  
文責：校長 石川 昌弘

## 全国学力・学習状況調査(児童質問紙調査)から

前号で、4月に6年生対象に実施された全国学力・学習状況調査の教科に関する調査について本校の現状や課題等をお伝えしましたが、今回は児童の学習環境や生活環境に関する児童質問紙調査の結果を全国平均と比べながら、本校の子どもたちの「優れている点」と「気になる点」について触れてみたいと思います。

### <優れている点>

- ・人の役に立つ人間になりたいと思うか。
- ・朝食を毎日食べているか。
- ・家で、学校の宿題をしているか。
- ・算数の勉強は大切だと思うか。
- ・算数の授業内容はよくわかるか。
- ・理科の授業では、理科室で観察や実験をしっかりと行ったか。



### <気になる点>

- ・家の人(兄弟姉妹除く)と学校での出来事について話をしているか。
- ・今住んでいる地域の行事に参加しているか。
- ・地域や社会で起こっている問題や出来事に関心があるか。
- ・地域や社会をよくするために何をすべきか考えたことがあるか。
- ・理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返って考えているか。
- ・5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していたと思うか。

今年度の質問紙は、教科面では算数と理科についての質問のみで、国語についての質問がありませんでした。算数の学習は、大切だと考えていて、内容もよくわかると多くの子が答えています。また、理科の学習では、観察や実験をしっかりと行っていると多くの子が答えています。そのほか、家で宿題もしっかりしていると答えている子の割合も多かったです。

こういったことが、基礎学力の向上や定着につながっていくと考えられますので、今後も大切にしていきたいと思います。



課題としては、自分の考えをうまく伝えることや振り返りをするのが苦手だと答えている子が多くいるということです。このことは、以前から学校全体の課題としてとらえており、今後も学校全体で取り組んでいきたいと思いをします。

生活面では、毎日朝食を食べている本校児童の割合が90%を超えており、一日の活力源である朝ご飯をしっかり食べているということは、しっかり学習する土台ができているということで、何よりも大切なことだと思いをします。また、人の役に立ちたいと考えている子の割合も95%を超えています。この思いが将来に向けて、具体的なものとしてかなえられるように支援していきたいと思いをしています。



その反面、地域に関わる質問の回答が気になります。子どもたちが学校を卒業した後、社会や地域で活躍する期間のほうがはるかに長いと思いをしますので、地域や地域の皆さんといろいろな形で子どもたちが関わっていただけたいと思いをします。また、家の人と学校の出来事について話すことが少ないということも気になります。お忙しいとは思いますが、晩御飯や食後の団欒の時に、お子さんと学校での出来事などを話す機会があればと思いをします。

これからも、子どもたちのよりよい成長を考えて、ご家庭のご支援ご協力を得ながら指導・支援していきたいと思いをしています。よろしくお願いいたします。

## PTA 奉仕作業にご協力ありがとうございました！

9月1日（土）、PTA 奉仕作業が行われました。小雨の降る中、PTA 役員さんをはじめ PTA 会員の皆さんに参加いただきありがとうございました。残念ながら、雨が激しくなり、途中で終了となりましたが、夏休み中に、運動場に生えた雑草を抜いていただいたり、運動場の土が流れ込んだ溝の掃除をしていただいたりして、大変助かりました。ご協力ありがとうございました。



## お願い！！

2学期の初めにもお願いした学校敷地内の「車両進入禁止区域」にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。

北門付近や駐車場内を自動車で通行されるときに、登下校時の子どもたちが歩いている場合がありますので、その際は、最徐行で通行をお願いします。

今後も、ご協力よろしくお願いいたします。

